

サイクロン ミチャウンによるインド物流への影響

各種ニュース報道のとおり、インド南東部に上陸した大型のサイクロン ミチャウン(MICHAUNG)が現地に甚大な被害をもたらしています。本号では、サイクロンによるインド物流への影響についてお伝えいたします。

1. チェンナイでの被害

インド気象庁によるとベンガル湾で発生したサイクロン ミチャウン(MICHAUNG)は、12月5日(火)午前中にインド南東部のアンドラ・プラデーシュ州に上陸し、現在インド国内を北上しています。

上陸前から、最大風速 110km/h(68mph)の強風と集中豪雨の猛威を振り、アンドラ・プラデーシュ州に隣接するタミル・ナードゥ州の州都チェンナイでも多くの住宅地が浸水し、7,000 名以上が避難し、洪水や停電により多くの工場も閉鎖されました。

チェンナイにとっては過去 50 年で一番の降雨に見舞われています。豪雨・洪水の影響を受け、タミル・ナードゥ州政府は 12 月 5 日を公休日と宣言しております。

2. 物流への影響

当社の現地ネットワークによると、12月4日(月)、チェンナイ国際空港は駐機場場を中心冠水し、また強風により、全便欠航、業務を一時停止しました。5日(火)13時頃より業務を再開しましたが一部欠航が続いています。

また、チェンナイにある3つの港でも12月4日はオペレーションを停止しており、インド南部鉄道も同日は業務を停止していました。部分的に営業を再開し始めておりますが、しばらく混乱は続く見込みです。

上記情報は、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただくようお願いいたします。



【出典】 <https://www.metoc.navy.mil/jtwc/jtwc.html>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



Joint Typhoon Warning Center HP より
○がチェンナイ



マリントピックス バックナンバー